

水稻、大豆、小麦、ばれいしょ、ブロッコリー／規模拡大、単収・品質の向上、高収益作物の導入

水稻栽培の省力化による経営規模拡大と高収益作物導入の実現

～仁木 宏直氏（北海道瀬棚郡今金町）～

経営体の概要

事業実施前：平成27年
基幹作物：水稻、大豆、小麦、ばれい
しょ、てんさい
経営面積：26.0ha

事業実施後：令和5年
基幹作物：水稻、大豆、小麦、ばれい
しょ、ブロッコリー
経営面積：40.0ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【事業実施前】

- 農地が小区画不整形で排水不良等のほ場条件のため生産性が低く、今後、耕作放棄地が増加するおそれ。
- ほ場が分散しており、非効率な土地利用。



排水不良な水田ほ場

【事業実施後】

- 国営今金北土地改良事業（平成27年～）により農地の大区画化、排水改良が図られ、作業効率が向上し、営農条件が大幅に改善。
- 換地によるほ場の集積が図られ、農業経営の合理化と効率的な土地利用が可能。



大区画化されたほ場

営農改善、経営転換等のポイント

①水稻作業の効率化による経営規模の拡大

農地の大区画化に伴い、自動操舵トラクターや直進アシスト田植機を導入。作業効率の向上により経営規模を拡大。また、排水改良に伴う排水性の向上により低タンパク米の栽培が可能となり、良食味米である「ゆめぴりか」を新たに導入。



直播栽培での播種作業

②水稻の水管理時間の節減と単収・品質の向上

整備前のほ場は、狭小で田越しかんがいであったため、水稻の水管理による見回りに多大な時間を要していたが、用水路のパイプライン化、地下水位制御システム、遠隔操作自動給水栓による水管理が可能となり、水管理時間が大幅に（3～4割）節減。

また、水管理が安定的に行われるようになったことから、水稻直播栽培の課題であった発芽率が向上し、収量・品質が向上するなど省力的かつ安定的な水稻生産が可能となった。



自動給水栓による省力化

③高収益作物の導入による農業経営の安定

水稻の水管理時間の節減に加えて、排水改良による降雨後の迅速な排水と地耐力の向上に伴い、天候に左右されず計画的に播種・収穫作業などが可能となったことから、余剰労力が生まれたことにより、近年地域で栽培が増加しているブロッコリーの作付やばれいしょを導入した輪作体系が可能となり、農業経営の安定が図られた。



ブロッコリー栽培ほ場

事業概要

事業種：国営緊急農地再編整備事業
関係市町：北海道瀬棚郡今金町
受益面積：1,660ha
事業期間：平成27年～令和9年
事業目的：区画整理、用水改良 等
主要工事：区画整理 1,136ha、
農業用排水 864ha

位置図



<問い合わせ先>

北海道開発局
農業水産部農業計画課
計画第1係
電話：011-709-2311
（内線：5522）

（令和6年度調査時点）